

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年3月22日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		2月の価格動向			3月の価格動向		生育及び価格の3月の見通し		
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額			
			中旬	下旬				上旬	
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	118	111	88.05	90	・入荷見込量：16,674t (100) ・主産地：愛知 (68)、千葉 (15)、神奈川 (14)	・愛知産は玉肥大もよく生育は順調。平年並みの出荷量の見込み。千葉産も順調で平年並みの出荷量となる見込みだが、下旬にかけて減少。神奈川産の冬キャベツは終盤、今後は春キャベツの本格的な出荷となるが、1月の低温・少雨の影響で生育が遅れ平年より若干少ない見込み。 ・愛知産の順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。	
		79.74	136	117	79.74	87	・入荷見込量：4,500t (101) ・主産地：愛知 (46)、大阪 (17)、兵庫 (16)、和歌山 (8)		
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	229.99	333	306	229.99	310	・入荷見込数量：4,515t (102) ・主産地：千葉 (44)、埼玉 (30)、茨城 (9)、輸入 (6)	・生育期間が長いことから、これまでの異常気象の影響が残っている。千葉産は生育・出荷が回復傾向にはあるが、平年の出荷量に届かない。埼玉産も平年を下回る出荷が続いており、次作の春物も生育が遅れ少なめの出荷が続く見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年を上回って推移する見込み。	
		450.51	556	461	450.51	382	・入荷見込数量：250t (91) ・主産地：徳島 (28)、大阪 (15)、三重 (13)、高知 (11)、香川 (11)、奈良 (9)		
	はくさい	64.34	74	67	64.34	70	・入荷見込量：8,815t (102) ・主産地：茨城 (54)、兵庫 (30)、群馬 (11)	・茨城産は1月の低温で生育は遅れぎみであったが、好天により回復しつつある。ガソリン不足等による輸送上の問題が懸念材料。兵庫産は冷蔵主体の出荷で平年並みの出荷量となっている。 ・茨城産の出荷量が少なめと見込まれること、需要が強くなってきつつあることから、価格は平年より高めに推移する見込み。	
		76.33	82	79	76.33	75	・入荷見込量：3,100t (96) ・主産地：長崎 (43)、兵庫 (16)、愛知 (12)、熊本 (11)、大分 (9)		
	ほうれんそう	307.66	428	343	307.66	321	・入荷見込量：1,661t (103) ・主産地：茨城 (29)、群馬 (25)、千葉 (19) 埼玉 (19)	・入荷量の過半 (54%) を占める茨城産・群馬産の出荷制限に伴い、入荷量は大幅に減少の見込み。 ・このため、価格は平年を上回って推移する見込み。	
		341.25	478	357	341.25	225	・入荷見込量：570t (101) ・主産地：徳島 (56)、福岡 (15)、埼玉 (5)		
	レタス	259.83	275	215	210.15	165	・入荷見込量：7,727t (96) ・主産地：茨城 (40)、静岡 (17)、香川 (13)、兵庫 (8)、栃木 (6)	・茨城産は地震の影響で出荷量が少なめとなったが回復傾向となり、今後生育が順調なので安定した出荷となる見込み。静岡は平年並みの出荷だが、終盤となり下旬にかけて減少する見込み。 ・安定した出荷量が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		238.68	295	243	214.33	168	・入荷見込量：1,300t (95) ・主産地：兵庫 (49)、徳島 (22)、香川 (14)、茨城 (8)		
	たまねぎ	76.15	146	144	76.15	144	・入荷見込量：9,285t (95) ・主産地：北海道 (61)、輸入 (21) 静岡 (16)	・北海道産は小玉傾向かつ成品率が悪いことから、出荷量は平年を下回る見込み。地震の影響による輸送上の障害が懸念される。静岡産は小玉傾向だが出荷は順調で、前年並みの出荷となる見込み。 ・北海道産が不作であることから、価格は平年より高めに推移する見込み。	
		76.15	145	149	76.15	145	・入荷見込量：3,900t (94) ・主産地：北海道 (49)、兵庫 (17)、長崎 (12)、静岡 (9)		
果 菜	きゅうり	370.98	321	318	253.93	283	・入荷見込量：5,860t (101) ・主産地：群馬 (20)、千葉 (19)、埼玉 (18)、宮崎 (14)、茨城 (13)	・群馬産の生育は順調で、平年を上回る出荷となる見込み。千葉産も生育が順調で前年を上回る見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年並みに推移する見込み。	
		350.33	305	312	242.77	267	・入荷見込量：1,200t (105) ・主産地：宮崎 (45)、徳島 (18)、高知 (18)、愛媛 (8)		
	トマト	332.6	366	388	323.6	382	・入荷見込量：5,498t (100) ・主産地：熊本 (24)、栃木 (20)、愛知 (10)、茨城 (9)、千葉 (5)、群馬 (5)、埼玉 (5)、福岡 (5)	・熊本産は最近の低温の影響でS以下が60%以上と小玉傾向になっていて、少なめの出荷量となっている。4月中旬には回復する見込み。栃木産は地震の影響でやや少なめの出荷量となり、平年を若干下回る出荷量となる見込み。 ・出荷量は少なめと見込まれることから、価格はやや高めに推移する見込み。	
		311.06	356	382	321.78	371	・入荷見込量：1,000t (99) ・主産地：熊本 (50)、福岡 (20)、愛知 (11)		
	なす	389.03	370	385	347.77	378	・入荷見込量：2,652 (102) ・主産地：高知 (58)、福岡 (16)、佐賀 (6)	・高知産は天候の回復にともない、平年並みの出荷となっている。福岡産は気温の上昇、日射量の増加で樹勢が回復し生育が順調で平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年並みで推移する見込み。	
		397.74	371	379	348.37	375	・入荷見込量：550t (115) ・主産地：熊本 (30)、高知 (26)、福岡 (20)、岡山 (11)、大阪 (7)		
	ピーマン	501.13	611	620	501.13	588	・入荷見込量：1,458t (100) ・主産地：茨城 (41)、宮崎 (29)、高知 (18)、鹿児島 (12)	・茨城産、宮崎産ともに生育が順調であるが平年の出荷量には届かない。 ・価格は平年よりやや高めに推移する見込み。	
		467.19	609	585	467.19	573	・入荷見込量：280t (95) ・主産地：宮崎 (61)、高知 (27)、鹿児島 (7)		
	根 菜	だいこん	83.19	94	73	83.19	78	・入荷見込量：12,557t (100) ・主産地：神奈川 (61)、千葉 (36)、	・神奈川産は終盤を迎え下旬にかけて減少傾向となり、4月上旬には切り上がり、平年より少なめの出荷となる見込み。千葉産も適雨により生育が良好となり、前年を上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷量が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
			84.7	92	76	84.7	84	・入荷見込量：3,000t (100) ・主産地：徳島 (23)、長崎 (23)、鹿児島 (19)、福岡 (12)、香川 (7)	
にんじん		96.24	170	158	96.24	164	・入荷見込量：7,411t (92) ・主産地：千葉 (58)、徳島 (23)、埼玉 (9)、輸入 (3)	・千葉産は少なめの出荷量で、平年より早めの切り上がりの見込み。徳島産は小ぶりでM中心の出荷であるが、今後は気温の上昇とともに肥大が進み、L中心の出荷となる見込み。 ・出荷量が少なくと見込まれることから、価格は平年より高めで推移する見込み。	
		104.73	146	150	104.73	151	・入荷見込量：2,300t (92) ・主産地：鹿児島 (54)、徳島 (20)、長崎 (11)、愛知 (9)		

種類		2月の価格動向			3月の価格動向		生育及び価格の3月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額		
			中旬	下旬				上旬
い も	さといも	217.95	297	300	217.95	299	・埼玉産は夏の少雨の影響で小玉傾向、前年の出荷量を約2割下回る見込み。千葉産も夏の少雨、10月の降雨の影響で、生育不良がみられ、前年の出荷量を下回る見込み。 ・価格はやや高めで推移する見込み。	
		219.65	327	341	219.65	292		
	ばれいしょ	88.17	150	151	88.17	158		・北海道産は夏の高温の影響で小玉傾向、空洞果多く、玉つきも悪く、出荷量は少なかった前年を下回る見込み。地震の影響による輸送上の障害が懸念される。鹿児島産は低温・曇天の影響で、作柄が良くなく、平年を下回る見込み。 ・価格は、引き続き平年より高めで推移する見込み。
		88.17	134	135	88.17	146		
1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。 2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。 3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック								
1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといも(近畿)は前年実績。 2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。 3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。								

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、1月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,310gで対前年比102%、購入金額は、1,573円で同101%となり、購入量、購入金額ともにほぼ前年並みとなっている。

また、小売物価統計によると、2月のキャベツの小売価格は235円で過去5年平均比136%、レタスは694円で同140%となり、キャベツ、レタスともに前年を上回っている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574		0		0
3月	4,767	1,695	4,970	1,768		0		0
4月	4,732	1,808	4,518	1,884		0		0
5月	5,094	1,902	4,925	1,965		0		0
6月	5,033	1,880	5,026	1,907		0		0
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ		5カ年比 (%)	レタス		5カ年比 (%)
	過去5カ年平均	平成23年		過去5カ年平均	平成23年	
H22.7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	166	104	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	159
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	185	127	456	393	86
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	235	136	496	694	140
3月	181		0	455		0
4月	250		0	464		0
5月	185		0	399		0
6月	159		0	360		0

注1：過去5カ年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均

注2：2月の値は、2月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年2月の輸入量を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比133%（うち中国同142%、米国147%）の3万7千トン、にんじんは同514%（うち中国同547%、台湾同507%）の6千トン、ねぎは同134%（同中国134%）の4千トンとなり、引き続き前年を上回って推移している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1月	
		前年比		前年比		前年同期比
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	76,760	140
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	157,905	122
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	234,665	128
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	121,812	132
中国産シェア	50		51		52	

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

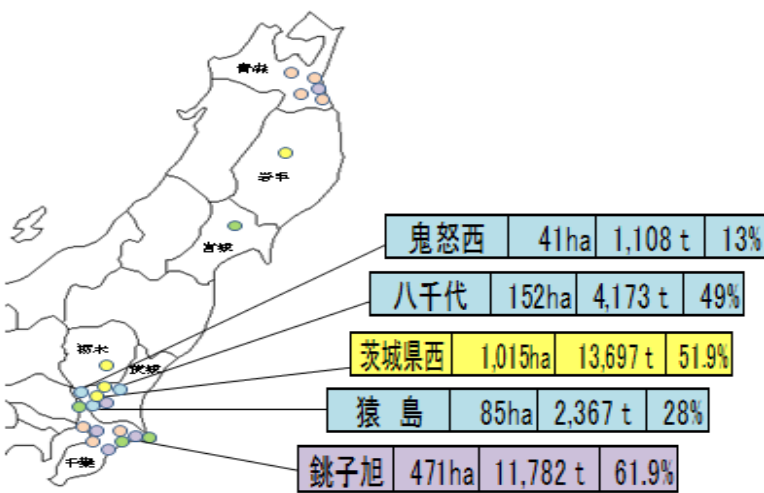
主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.2	(B)2011.2	(B)/(A)
たまねぎ	合計	27,857	36,992	133
	中国	13,444	19,124	142
	米国	9,759	14,328	147
にんじん	合計	1,181	6,073	514
	中国	923	5,053	547
	台湾	171	867	507
ねぎ	合計	3,244	4,342	134
	中国	3,242	4,340	134

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2011.2）は、2月末までの速報値である。

4 トピック

東北地方太平洋沖地震の影響について 地震の被害を受けた東北・関東地方における主な冬春野菜(キャベツ、だいこん、にんじん、はくさい、レタス)の指定産地について、4月の東京市場の入荷量及び全入荷量に占めるシェアを試算した。 これらの指定産地が大きなシェアを占めているものは、だいこんで千葉県が7割強、はくさいで茨城県が9割、レタスで茨城県が6割となっている。 産地への聞き取りによると、これらの産地への直接的な被害は少ないものの、道路の通行障害、燃料不足の影響など物流面の問題が懸念される。 需要に関しても、日持ちの良い品目にシフトするなどの影響がみられる。	東北・関東地方の主な冬春野菜の指定産地(4月推計値) 東北・関東地方の主な冬春野菜の指定産地は以下のとおりであるが、4月の出荷については茨城・千葉が中心となっている。 ■ : キャベツ ■ : だいこん ■ : にんじん ■ : はくさい ■ : レタス  注1:表中は、指定産地名、作付面積、出荷量(指定産地の総出荷数量と東京都中央卸売市場の4月の入荷量を基に推計した)、出荷量シェア。 注2:シェアについては、出荷量を東京都中央卸売市場の主産県の4月の入荷量割合から推計。 資料:農林水産省生産局生産流通振興課「野菜指定産地一覧(平成19年度実績)」	地震に伴う物流面での課題と現状(3月21日現在) 道路の通行障害※ ※日本道路交通情報センター調べ ○高速道 ・東北道は宇都宮ICまで通行可能 ・常磐道はいわき中央ICで通行可能 ○一般道 ・千葉県内はほとんど問題なし ・茨城県内は海沿いを中心に通行止めや規制中 燃料不足 ・石油元売り各社が供給安定化に向けた対応を発表しており、徐々に燃料不足の問題も解消される見通しだが、時間が必要

【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました! (直接契約課)】
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yaiukyu01_000076.html
●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484